



らんざん

嵐山町の春の風物詩 都幾川桜堤

- ◆特集 令和8年度予算…………… P 2～ 4
- ◆第1回定例会報告 主な議案と審議結果…………… P 4～ 5
- ◆一般質問7人が町政を問う…………… P 6～ 9
- ◆常任委員会・小中特別委員会/政務活動費/組合議会…… P11
- ◆ハイスクール議会/編集後記 …………… P12

令和8年第1回定例会傍聴者 35人

次回の定例会は 6月 4日(木)開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしております。
請願・陳情は 5月27日(水)午後5時までに提出してください。

議員が編集した手づくり議会だよりです。こちらからご覧になれます。 ⇨



令和8年度当初予算を徹底審議

財政状況ポイント

※1万円未満切捨て

歳入 自主財源 37億7797万円
前年度比2.3%増（構成比51.5%）

歳入 町債発行 2億6830万円
前年度比60.9%増

起債残高 47億7692万円（8年度末予測）
前年度比 約3億1925万円減（見込）

歳出 公債費 6億1262万円
※町債の元利償還金等 義務的経費
前年度比1.9%減
公債費負担比率11.3%（15%が危険ライン）

基金 取崩額3億9147万円
8年度末残高見込19億6494万円

73億3800万円

可決

（前年比6.5%増）

令和8年度予算審議は、予算特別委員会に付託された。

委員長に吉本秀二議員、副委員長に宮本大裕議員を選出し、4日間にわたる慎重な審査を経て原案通り可決された。なお、渋谷登美子議員より一般会計予算に対し、部落解放同盟嵐山支部補助金40万円を全額減額し、放課後子供教室事業において、地域住民を講師とする体験活動を実施するための経費を予算化する修正案が提出され、賛成者少数により否決された。



財政

歳入 寄附金 9001万円
前年比1000万円増だが実績を考慮すると過少では

Q 近年、ふるさと納税の額が伸びているが、安定的な財源ではない、財源構成の前提にはできないため、当初はこの金額にしている。

歳入 固定資産税 17億497万円
Q 花見台工業団地及び杉山インターランプ内企業の固定資産税額見込みは

A 花見台工業団地は5億1200万円、杉山インターランプは1億3300万円を見込んでいる。

歳出 公債費 6億1262万円
Q 今後学校建設に伴う起債の予定は

A 約60億円の建設費用に対する国の補助率を35%と考え、公共公益施設建設基金の積み立て分もふまえ、今のところ約32億円の起債を予定している。

元利償還には、22%の交付税措置もあり、公債費負担比率は令和12年から13年がピークとなるが、12%から12・5%に納まる見込みである。

予算

議案

一般質問

常任委員会

特別委員会
政治活動費

教育・子育て

Q 学校の給食費補助事業 4678万円
該当する人数は

A 小学校は全額無償647人。中学校は第1子半額221人、第2子半額20人、第3子全額無償0人。

Q 児童保育室改修工事 1億8632万円
工事のスケジュールは

A 4月中に国の補助金の内示を受け、夏休み前には着工し、令和9年3月には菅谷小の2保育室を先行統合して開設したい。定員が200名となり、当面残る七郷小の保育室と合わせ、改修後の定員は240名となる。

Q 乳幼児健診事業 384万円
5歳児健診（新規事業）の人数は

A 89人の予定である。

高齢者福祉

Q 地域密着型サービス等整備助成事業 5252万円
内容は

A 町が公募で選定した事業者に対し、整備・開設準備等の経費を助成する事業。地域密着型サービスの通いを中心に訪問・宿泊・訪問看護を組み合わせて提供する看護小規模多機能型居宅介護の1施設である。

経済活動支援

- Q** 農業者支援事業
内容は 1442万円
- A** 直売所生産組合への営農指導や特産果樹づくりとして
- Q** 観光協会補助事業
前年より減額の理由は 1616万円
- A** 協会事務所が駅前の「嵐なび」に移ることで、人件費の抑制が図られることなどによる。

物価高騰対応臨時交付金事業

- Q** 水道基本料金免除事業
内容は 3000万円
- A** 基本料金及び従量料金（旧基本水量分）の4か月分を免除するもので、対象は水道使用全世帯（一般家庭8295件、企業66件）。
- Q** 住宅防犯対策事業
内容は 400万円
- A** 戸建て住宅用の防犯カメラ等防犯物品購入に対し1万円を限度に補助するもの。400件を見込んでいます。
- Q** 町内企業賃上げ環境整備事業
内容は 500万円
- A** 令和6年と7年分の給与を比較し、3%以上上昇した企業に対し、従業員1人あたり1万円、10万円を限度として補助するもの。70社、500人を見込んでいる。
- Q** 学校給食費負担軽減事業
内容は 250万円
- A** 物価高騰が予想される米飯代に対して、上限250万円を補助するもの。

反対討論（渋谷登美子 議員）

令和8年度当初予算案に対し、反対します。施策の多くを評価しますが、特定団体への補助金継続は公平性の観点から見直しが必要であり、国立女性教育会館（NWECC）の再編等、貴重な地域資源を失う国の政策には地方自治の視点から課題があります。ごみ処理や健康施策等、将来世代に責任ある行政運営を強く求めます。

賛成討論（佐藤 弘美 議員）

防災行政無線、災害の対策は必要不可欠。逃げ遅れや混乱をなくす方法の一つで命を守るもの。地域密着サービス事業、高齢者に外出機会を作る。幼稚園も近く、園児と「日常的な会話や挨拶が生まれる場所」「自分の事として身近に考えるきっかけ」「職員同士の意見交換会の居場所」にもなる。選んでもらえる魅力的なまちづくり予算に期待する。

賛成討論（畠山 美幸 議員）

物価高騰対策としての水道基本料金の減免や防犯対策、学童保育の拡充、福祉施策の充実など、町民生活を支える具体的な施策が盛り込まれています。また、町債の減少により健全財政にも十分配慮されたバランスの取れた内容です。さらに新校建設を見据えた基金積立や将来の財源確保にも言及されており、本予算に賛成します。

反対討論（川口 浩史 議員）

小川地区衛生組合の5か町村と東松山市とで「ごみ処理の広域化」について基本合意書を締結した。このごみ処理は、東松山市に焼却場を建設するというものである。一方小川地区衛生組合の生ごみは発酵方式により処理している。焼却方式は焼却時、大量の二酸化炭素を発生させている。気候変動を考慮すれば、発酵方式による方が良い。従って焼却方式を進める「ごみ処理の広域化」は認められない。

議員の主張 私は賛成・反対しました

予算特別委員会（特別会計）

※（ ）内は前年比

特別会計		公営企業会計	
国民健康保険	18億3,150万円（0.1%）	水道事業	15億2,055万円（23.2%）
後期高齢者医療	3億8,900万円（14.3%）	下水道事業	10億1,860万円（3.1%）
介護保険	16億9,400万円（3.0%）		

介護保険

被保険者数 11,773人※令和8年1月時点
高齢化率 35.1%（前年並み）

- Q 総合相談事業費減額の理由は
A 保健師の資格を持つ正規職員が配置されたため、会計年度任用職員報酬分を減額した。

国民健康保険

被保険者数 2,826人（△221人）
療養給付費 11億 648万円（△1.6%）
高額療養費 1億8,208万円（前年並み）

- Q 特定検診率の目標は
A 令和8年度は51%としている。

下水道事業

水洗化戸数 5,409戸（50戸）
町管理型合併浄化槽戸数 865戸（10戸）

- Q 浄化槽転換促進奨励補助金の見込み基数は
A 町管理型合併浄化槽への転換に対し50万円を補助するもので、12基を予定している。

水道事業

給水戸数 8,500戸（△100戸）
年間総配水量

- 2,797,960m³（1,960m³）
Q 県からの受水費は
A 受水量は25%と変わらないが、受水費は令和8年4月より21%値上げとなる。

令和8年 第1回定例会 審議結果

※○の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました。

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します（「裁」と記載）。

全ての議案賛否はこちらから



議案番号	賛否の分かれた町長提出議案	審議結果	佐藤	橋本	宮本	小林	藤野	吉本	森	青柳	畠山	川口	渋谷	狛守
			弘美	将	大裕	智	和美	秀二	一人	賢治	美幸	浩史	登美子	
議案第4号	嵐山町国民健康保険条例の一部を改正することについて	可決	●	×	●	●	×	●	●	●	●	×	×	議長
議案第10号	令和8年度嵐山町一般会計予算議定について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	
議案第11号	令和8年度嵐山町国民健康保険特別会計予算議定について	可決	●	●	●	●	×	●	●	●	●	×	×	
議案第12号	令和8年度嵐山町後期高齢者医療特別会計予算議定について	可決	●	●	●	●	×	●	●	●	●	×	×	
議案第14号	令和8年度嵐山町水道事業会計予算議定について	可決	●	●	●	●	×	●	●	●	●	×	●	
議案第15号	令和8年度嵐山町下水道事業会計予算議定について	可決	●	●	●	●	×	●	●	●	●	×	●	
議案第16号	第6次嵐山町総合振興計画を改訂することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	

議案番号	議員提出議案	審議結果	佐藤	橋本	宮本	小林	藤野	吉本	森	青柳	畠山	川口	渋谷	狛守
			弘美	将	大裕	智	和美	秀二	一人	賢治	美幸	浩史	登美子	
発議第1号	有機フッ素化合物（PFAS）による汚染対策および土壌・製品規制の強化を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	●	×	×	×	×	●	●	議長
発議第2号	太陽光発電パネルのリサイクル義務化を求める意見書の提出について	否決	×	●	×	×	●	×	×	×	×	●	●	
発議第3号	児童の性的搾取根絶と女性支援法に基づく風営法規制強化を求める意見書の提出について	否決	×	●	×	×	●	×	×	×	×	●	●	
発議第4号	スパイ防止法制定に反対する意見書の提出について	否決	×	×	×	×	●	×	×	×	×	●	●	
発議第5号	イランに対する攻撃の即時停止と外交による平和的解決を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	●	×	×	×	×	●	●	

将来への投資 町民生活の安定

予算

議案

一般質問

常任委員会

特別委員会
政治活動費

議案第6号
令和7年度
一般会計補正予算

歳入歳出

2億5717万円追加
総額83億1317万円

主な歳入

地方交付税

普通交付税の交付額再
算定に伴う補正
1億3657万円

国庫支出金

都市構造再編集中支援
事業補助金

事業補助金

嵐山町立小中学校建設
事業実施設計業務委託
2540万円

寄付金

一般寄附金

2611万円

児童福祉費寄附金

ひとり親家庭への支援
に対する指定寄附金
1000万円

企業版ふるさと納税寄
附金

210万円

※令和7年度ふるさと
納税 寄附額見込み
約1億8000万円

主な歳出

財政調整基金等管理事
業

財政調整基金積立金

1億6021万円

※補正後の基金残高

10億6424万円

(財政調整基金比率21・6%)

国民健康保険特別会計

繰出事業

国民健康保険特別会計

繰出金 1279万円

児童福祉総務費

ひとり親家庭臨時特
別給付金事業(対象
102世帯)

嵐山町立小中学校再編
事業

1014万円

嵐山町立小中学校建設
事業実施設計業務委託

料 1億149万円

議案第16号
第6次嵐山町総合
振興計画の改定

誰もが生きがいや居
場所を感じ、安心して
暮らせるまちづくりを
推進し、総合的かつ計
画的な行政運営を図る
ために一部を改定する
もの。



第6次嵐山町
総合振興計画

議案第1号

乳児等通園支援事業
手数料条例の制定

利用者の属する世帯の区分	手数料の額 (1時間当たり)
生活保護法による被保護世帯	0円
市町村民税非課税世帯	60円
市町村民税所得割合算額 77,101円未満の世帯	90円
要支援児童及び要保護児童の いる世帯	150円
上記以外	300円

議案第4号
国民健康保険税率
例の一部改正

安定的な運営を確保
するため及び埼玉県内
保険税水準の統一に向
けた保険税率の見直し
をするもの。

課税区分	改正前	改正後	差額
所得割	12.40%	13.99%	1.59%
医療分	7.60%	8.50%	0.90%
支援分	2.60%	2.80%	0.20%
介護分	2.20%	2.40%	0.20%
子ども・子育て分	-	0.29%	0.29%
均等割	71,000円	80,900円	9,900円
医療分	40,000円	46,000円	6,000円
支援分	15,000円	16,000円	1,000円
介護分	16,000円	17,000円	1,000円
子ども・子育て分	-	1,800円	1,800円
子ども・子育て分(18歳以上)	-	100円	100円

Q 今回の改正によ
り、県の準統一に
なるということか

A 県の指導に基づい
て令和9年度の準
統一に向け、税率改正
を行うもの。令和9年
度と7年度の標準保険
税率の間をとった税率
とした。

議案第20号

町道路線の認定

埼玉県が示す「バイ
パス建設に伴う重複管
理の解消に関する方
針」に基づき、県の依
頼により町道認定を行
うもの。
路線名：町道1-26号
志賀地内から小川町
水坂への旧254路線

同意第1号

教育委員会教育長
の任命

下村 治氏(再任)

一般質問 7人の議員が町政を問う

※本文は質問した議員本人の責任で要約した原稿を掲載しています。
※各議員の質問動画はYouTubeにて配信しております。二次元コードによりご覧になれます。

1 吉本 秀二

- 質問事項 ◆区長活動謝礼金について
◆町の交通安全環境の整備について

2 川口 浩史

- 質問事項 ◆ごみ処理の広域化について
◆町議会への情報提供について

3 橋本 将

- 質問事項 ◆熊・イノシシ等の野生鳥獣による被害対策について
◆公共施設のインターネット予約導入について

4 畠山 美幸

- 質問事項 ◆景観舗装導入について
◆庁舎内の照明LED化と明るさ調節で更なる省エネの実現を目指すことについて
◆「パパママ応援子育てスタート用品レンタル事業」について
◆路上喫煙ゼロを目指し分煙環境の整備について
◆水道検針ソリューションについて

5 藤野 和美

- 質問事項 ◆学校跡地利用計画について
◆聴覚障がい者への支援について
◆生涯安心してペットと暮らせるサポートの仕組みづくりについて

6 渋谷登美子

- 質問事項 ◆独立行政法人男女共同参画機構について
◆東松山市・小川町・滑川町・ときがわ町・東秩父村のごみ広域処理の検討状況について
◆学校給食におけるグノム食品の扱いについて
◆PFASの安全性欠如の周知と水道水源への影響について
◆障害のある高校生等の通学支援について

7 森 一人

- 質問事項 ◆嵐山町の情報発信力強化について

問 近隣各町との報酬額比較では、嵐山町は50世帯までは他町より高いが、100世帯で各町間の差は少なくなり、150世帯では他町の方が多くなる。300世帯では他町との差が年額6万から最大29万円の差になり、更に、世帯数が増すことにその差が大きくなる。会議出席手当ても4町あるが、この状況をどのように見るか。

答 平成12年、年額で均等割14万円、1世帯当たり1100円だったが、区長会より区長間の差が大きすぎるとの要望書が提出され、平成13年から均等割24万円、1世帯当たり500円に改めた。均等割は近隣の町で一番高額である。

問 地域意見交換会において、区長のなり手がいない。報酬を上げるか業務を少なくするなどの対応が必要との意見があった。区長報酬額の根拠は。

区長活動謝礼金について



よしもと しゅうじ 議員
吉本 秀二



地 一時停止規制に関しての要望はほぼ受け入れてもらえないので、道路標示や注意喚起を促す看板等の設置で安全対策を講じていきたい。

問 交通安全対策での警察との協議状況は。

答 舗装修繕の優先順位の高い路線であり、舗装修繕工事時に、外側線の引き直しによる歩行空間の確保、またグリーンベルト等の整備を含めて検討していきたい。

問 古里2-2号の通学時の交通安全対策要望が地域住民から出ているが対応は可能か。

答 舗装修繕の優先順位の高い路線であり、舗装修繕工事時に、外側線の引き直しによる歩行空間の確保、またグリーンベルト等の整備を含めて検討していきたい。

問 平沢・遠山を結ぶ1-12号の歩道未整備用地を過去に補正予算で購入した理由は。

答 用地交渉の承諾のタイミングで補正予算になった。

地 区長間の格差を少なくということと、区長会の中で協議をして現在の数字をいただいたもの。

交通安全環境の整備について

総務課長 農政課長 生涯学習課長



かわぐち ひろし 川口 浩史 議員



ごみ処理委託の広域化について

問 昨年12月18日「ごみ処理の広域化の推進に関する基本合意書」が締結された。生ごみは焼却処理するということを聞いている。小川地区衛生組合の現状の生ごみ処理はメタン発酵方式であり、排出する二酸化炭素は少ないと思われる。ところが、焼却処理の方が排出する二酸化炭素は少ないという。理由は。

環 新施設は焼却熱を利用した発電による電気を施設内で使用することにより、電力購入を削減できるため。
問 発酵方式もバイオガスで発電している。計算に入っているのか。
環 入っている。

町議会への情報提供について

問 平成30年1月5日「町議会への情報提供について」という通知が職員に出された。内容は「議会から

の情報提供要請には応じる」「議員個人からの情報提供要請には応じない」というもの。これは、「調査権」について、議会にはあるが議員個人にはないことから、この通知が出されたものと推測する。以前、103万円の壁が話題となっていた際、町長は町の影響額を議会に報告したが、この内容について議員個人が町に情報提供の要請をしていたら提供できたか。

総 提供できないと思う。
問 このように当該通知は議員の調査活動を制限している。調査研究する権利は保障すべきでないか。
町長 調査する。



オリックス資源循環(株) 寄居バイオガスプラント

野生鳥獣による被害について

問 野生鳥獣被害の対策は。

農 イノシシ・シカ・鳥は小川猟友会嵐山支部へ委託。アライグマ・ハクビシンは捕獲用箱罠を貸出し、会計年度職員が設置・見回りをしている。

問 農家や地域住民に対する支援は。

農 電気柵の購入費として、町環境保全型農業推進協議会を通じて1万円と、農協から2万円の計3万円を10名の方に補助した。

問 「緊急銃猟」が法改正され一人の生活圏に出没したクマ等への銃器使用が一定の要件を満たす場合に自治体の判断で可能となった。制度の運用・整備は。

農 国のガイドラインにそって「日常生活圏への侵入・緊急性の高い危険性・他の手段では困難・安全性確保」の4条件を満たす状況下において実施することになるが、実施にあたってのマニュアル整備が必要と考える。

問 イノシシが学校や公共施設に侵入することは想定できる。対策は。



はしもと まさと 橋本 将 議員



嵐山町での野生鳥獣捕獲数表 R8年1月31日現在

(単位:頭)

	R7年度
イノシシ	16
シカ	24
ハクビシン	13
アライグマ	311

教育長 野生鳥獣に関してはこれから研究していく。登下校等の安全確保を図り、情報提供と各所に協力依頼をする体制をとっていく。

体育施設のインターネット予約について

問 期待される効果は。

生 業務の効率化、公平性・透明性の確保、利用データの蓄積と活用が期待できる。今後は体育施設以外にも視野に入れていく。

問 スマホ・タブレット等を持っていない方、苦手な方への対応は。

生 町の端末から予約可能。入力支援をする。

問 町内団体の優位性は保たれるか。

生 町内団体は3か月前から、町外団体は各月の10日から1か月前予約可能としている。

問 24時間予約受付とのことだが、人気施設は午前零時にアクセスしなくてはならなくなる可能性がある。システム変更は可能か。

生 可能。データの蓄積や利用者の意見を聞いて本町に適したシステムにアップデートしていく。

地 地域支援課長 **ま** まちづくり整備課長 **環** 環境課長



はたけやま みゆき
畠山 美幸 議員



景観舗装導入について

問 近年、駅周辺や観光地では景観と調和した舗装整備が進められている。シリコンアクリル樹脂塗装による景観舗装は、耐久性や発色に優れ、比較的低コストで施工できることから注目されている。本町でも、観光拠点や公共施設周辺の魅力向上のため導入を検討すべきと考えるが、町の見解を伺う。

答 シリコンアクリル樹脂塗装による舗装は、耐久性・耐候性や美観、デザイン性に優れる一方、雨天時や路面凍結時の滑りやすさや、下地の状態によるひび割れのリスクがあることとされている。景観舗装の活用は、周辺環境との調和、歩行者の安全性や快適性の向上に有効な手法と認識しており、導入にあたっては交通量や路面の劣化状況、将来的な修繕費用など多角的に検討し、今後の整備の参考としたい。



秩父駅前歩道

シリコンアクリル樹脂塗装舗装

※道路や歩道の表面にシリコンアクリル樹脂を塗って仕上げる舗装方法

インターロッキング舗装

※コンクリートのブロックを組合わせて敷く舗装方法

問 今後、学校再編に向けてスクールストリートや、庁舎前、せせらぎ水路インターロッキングの更新の際、活用するお考えは。

答 今後の更新や修繕にあたっては、既に取り入れている自治体を参考にしながら、メリットデメリット、費用対効果、維持管理等を含め、整備の参考としていきたい。



ふじのかずみ
藤野 和美 議員



学校跡地利用計画について

問 進捗状況は。

答 ワーキンググループを立ち上げ、令和8年3月までに「七郷小学校跡地活用基本方針（案）」を学校再編プロジェクトチームへ提案するため、検討や作業を進めている。

問 計画作成の進め方は。

答 まず、七郷小の基本方針を示し、志賀小、玉ノ岡中に関しても順次進めていく。

問 住民の意見反映はできるのか。

答 意見交換会やアンケートなどを通じて意見をいただき、修正等を加えて方針を決めていきたい。

聴覚障がい者への支援について

問 手話言語条例制定後の取組は。

答 令和5年度より、滑川町と共同で手話奉仕員養成講座を継続開催し、手話の普及に努めている。

問 「電話リレーサービス」を導入する考えは。

答 手話や文字と音声を通訳オペレーターによって電話を双方向になくサービスで、町ではホームページ上から登録なしで利用できる「手話リンク」サービスを、令和8年度から開始する予定。

生涯安心してペットと暮らすには

問 高齢者のペット効果は、認知機能の低下予防や規則正しい生活の維持などがあると思うがどうか。

答 それに加えて犬の場合は、介護費用が飼っていない方に比べて低いという研究成果もある。

問 しかし、高齢者が生涯安心してペットと暮らすには課題も多い。困ったときの相談は。

答 ペットに限らず高齢者の困りごととは、地域包括支援センターで受け付けており、そこから関係機関・団体へつなげている。



出典：(一財) 日本財団電話リレーサービスのHP



しぶやとみこ 議員 渋谷登美子



国立女性教育会館閉館後は

問 民間活用の進捗と解体方針だった既存施設の扱いは。

地 埼玉県は、又エックの跡地について国交省のサウンディング調査に提案した5つの民間事業者のうち、教育関係の1社と交渉を始めたと言っている。同社は、当初国が解体・撤去する方針だった既存施設を可能な限り全て引き継ぎ、活用したいとの意向を示している。なお本館改修中は、現事務所を研修棟に移動し、改修後本館へ移動する。

問 町の関わりと職員派遣の目的は。

地 新法人は、全国の男女共同参画センターをバックアップする「センター・オブ・センターズ」機能を強

化するため、新たな部署を設立する。そこへ、本町職員の派遣依頼があった。専門業務を通じて広域的な支援体制の構築に関わっていく。

問 町村部では困難な女性支援相談員の確保が難しい。町には新法人との連携を活かし、女性支援法の底上げと男女共同参画の融合を図る重要なハブとしての役割を期待したい。新法人における担当部署は。

地 現状又エックには5つの課と1つの室があるが、ここに4月より「地域支援課」が新たに設置され、本町職員が配置される予定である。



国立女性教育会館日本家屋外観

嵐山町の情報発信力強化について

問 町における情報発信の現状と課題をどの様に認識しているか。

地 町広報紙・防災無線・ホームページ・町公式ライン・X（旧ツイッター）・インスタグラム等がある。その中で町公式ラインは投稿も多く、各課局が積極的に活用しているが本場に欲しい情報が届いているのか、またX（旧ツイッター）では町公式ラインと同じ内容が投稿される傾向が多く見受けられ、区別されていないことが課題であると認識している。

問 町の魅力発信やブランディング強化に向けた具体的な施策について考えがあるか。

企 令和3年にラベンダーアロマオイルを商品化する際に、30代後半の女性をターゲットとして「香り空間を思い出す」というコンセプトのもとブランド名「風薫る嵐山」を商



もりもり 議員 森 一人



標登録。その後はターゲットには拘らずにラベンダー商品や肉汁うどん等に商標を使用し差別化を図っている。また、令和6年には「嵐山町観光資源の保護、育成及び開発に関する方針」を策定し、観光客を対象とした飲食店や土産物店などの開発にかかる制限を緩和している。

問 課長の答弁に「町民と直接膝を突き合わせての意見交換は大切と考える」とあったが、町長・職員が町民の皆様と意見交換を行う場を設けてもいいと考えるが。

町長 ご指摘のとおりだと思います。議員の方々も地域に向き意見交換会を行っており説得力がある。町としても今後、どのような形になるかわからないが、地域に向き町民の皆様意見を聞く姿勢を持っていきます。



「風薫る嵐山」商標商品

ま まちづくり整備課長 総 総務課長 福 福祉課長

総務経済常任委員会

(12/18・1/16・2/4)

ラベンダー園を中心とした 観光活性化について

●現状・今後の展開について

(企業支援課・観光協会ヒアリング)

- ・ 摘み取り体験や加工品開発につなげるため、グロッシンの栽培を進める。
- ・ 防草シートの導入により、管理負担が軽減された。
- ・ 観光協会や民間との連携を図りながら、来訪者の消費につながる仕組みづくりが必要と考える。
- ・ ラベンダーまつりは開催時期を見直し、広く広報して集客を図りたい。

●主な意見

- ・ キャンドルナイトや音楽演奏等のイベントを開催しては。
- ・ 除草シートの活用は、将来的な土壌への影響や処分方法等、環境面での課題がある。
- ・ ラベンダーの生育状況の継続的な確認や将来を見据えた活性化策を提案していく必要がある。

災害時における地域から取り 残しのない避難対策について

●避難対策について

(地域支援課ヒアリング)

- ・ 避難所運営は避難者主体となることから人材育成が課題。
- ・ 町単独での備蓄は予算的に限界がある。

●個別避難計画について

(福祉課・長寿生きがい課ヒアリング)

- ・ 個別避難計画は本人の同意のもと、支援者や避難先等を定めるものであるが、支援者自身が高齢である場合や寝たきり、障害特性のある方への対応等、実効性の確保が課題。

●主な意見

- ・ 地域住民による声掛けや助け合いによる避難体制の強化が重要。
- ・ 防災倉庫の備蓄状況の確認や簡易トイレの保有状況を確認し、地域の実態把握を進めるべき。



嵐山町防災地図
(ハザードマップ)

文教厚生常任委員会

(1/14・2/3)

地域「コミュニティ」の 仕組みづくりについて

●「むさし嵐丸庵」視察

(開設の経緯・活動状況等について長寿生きがい課・社会福祉協議会ヒアリング)

- ・ 地域住民の「互助」により高齢者を支えるサロンとして、「ささえあい嵐山」の活動から発足。空き家を活用して社会福祉協議会と地域の熱心なボランティアスタッフにより趣味・娯楽、食事会等、盛況で活発な活動を行っている。

●課題

- ・ ボランティアスタッフの高齢化、不足。
- ・ 男性の利用者が少ない。
- ・ 階段の急勾配。

●主な意見

- ・ 安定した仕組みにするために、町として方向性や仕組みを整備して行く必要がある。
- ・ 行政側で居場所づくりを行う人が集まりやすい仕組みをつくらないと進んでいかない。
- ・ ふれあい塾の一環として、子どもたちと交流しても良い。
- ・ 各地区に居場所があると良い。

学校給食の充実について

●委員間協議

- ・ 給食の無償化が進められていく中、質・量・安心・環境の確保、食育の充実、特色ある給食の提供等、学校給食に求められる課題は多い。
- ・ 子どもの意見の聞き取りや反映も大事である。

今後は、議員会主催で行われた志賀小での給食試食会(1月22日実施)も参考にして調査研究を進めていくこととする。



むさし嵐丸庵 現地視察=R8.2.3



嵐山町立小中学校再編調査特別委員会 (1/22・2/9)

小中学校再編に伴う教育保障・地域振興・
財政計画等について

滑川町立月の輪小学校視察について委員間協議

● 主な意見

- ・ 計画的なメンテナンスを考慮した地元事業者との関係性構築は重要だ。
- ・ 特別支援学級が普通学級と並びで設置されている。情操教育という観点からも、子ども達にとって良いことだと思う。

まちづくり整備課・学校統合推進課ヒアリング

【厚田深谷嵐山線の歩道整備について】

- ・ 11月に県土整備事務所より、令和7年度より事業化するとの話があり、昨年12月に対象地権者に向けた事業説明会を開催。
- ・ 事業区間は、延長約460m。整備される歩道の計画幅員は、歩車道境界ブロックを含む3.5m。

【補助金の進捗状況について】

- ・ 令和8年度に行う事業を少し前倒して実施することで、令和7年度補正予算を要望した。要望額は5080万円であったが、内示として2540万円（内示率50%）と国から通知があった。

● 主な質疑応答

- 問** 入札はいつ頃行う予定か
- 答** 工事の入札はまだ正確な時期ではないが、令和9年の6月に契約を結びたいと考えているため、6月議会に上程したい。

政務活動費 (令和7年4月～8年3月)

議員の調査研究のための必要経費として、議員あるいは会派に対して交付する金銭のこと。◆交付額◆議員一人当たり月額2500円



収支報告書はこちらから

会派、議員名	収入額	支出額	町返還額
政友会 佐藤弘美、宮本大裕、狛守勝義(R7.4～9月分)、小林智、吉本秀二、森一人 (R7.10～R8.3月分)、青柳賢治、畠山美幸	210,338円 <small>(利息338円含)</small>	0円	210,338円
日本共産党 (藤野和美、川口浩史)	60,000円	7,745円	52,255円
竹内 隆哲 (R7.4～R8.2月分)	27,500円	0円	27,500円
橋本 将	30,000円	37,428円	0円
渋谷登美子	30,000円	31,840円	0円
森 一人 (R7.4～9月分)	15,000円	0円	15,000円
狛守 勝義 (R7.10～R8.3月分)	15,000円	15,000円	0円

比企広域市町村圏組合議会

- 2月13日、比企広域市町村圏組合議会が東松山市議場において開会され、提出された15議案は全て原案通り可決された。
- 令和8年度消防特別会計予算**
- ・ 消防本部等庁舎管理経費 7572万円
 - ・ 消防指令業務共同運用負担金 5144万円
 - ・ 車両3台の購入費用 1億1509万円
 - ・ 嵐山分署庁舎LED化等改修工事費用 7660万円
- 斎場特別会計予算**
- ・ 斎場管理運営に係る経費 1億4029万円

小川地区衛生組合議会

- 2月12日、小川地区衛生組合議会が小川町議場において開会され、提出された4議案は全て原案通り可決された。
- 令和7年度一般会計補正予算**
- 歳入歳出 4314万円減額
 - ※総額 17億6725万円
 - ・ 債務負担行為（ごみ焼却場解体工事 令和7年度～9年度） 5億9203万円
- 令和8年度一般会計予算**
- 歳入歳出予算総額 19億3829万円
 - ・ ごみ焼却場解体工事等 3億3702万円

2025 嵐山町ハイスクール議会

1月31日 大妻嵐山高等学校生が議員となり、自分たちが学ぶ地域の課題や将来のまちづくりについて、女子高生の視点から自由な発想で町へ一般質問等を行いました。

当日の動画は、大妻嵐山中学校・高等学校公式YouTubeチャンネルよりご覧いただけます。



大妻公式 YouTube
チャンネル



- 昔は町内に児童生徒が2000人!?いたと聞いてビックリした！
少子高齢化問題が深刻！
でも、嵐山町にはこれからも頑張ってもらいたい！



- 卒業生が思い出に浸れる記念館のような場所も必要!!
- ラベンダー園のドライフラワー体験を実際にやってみたい!!



編集後記

去年に引き続き、嵐山町議会と大妻嵐山高校主催のハイスクール議会が開会されました。多くの質問・意見書が提出され、モニターで観ていた町議会議員たちが目を丸くする鋭い質問・たいと思う意見書も多くあり、我々、議会議員は多くの気づきと感動をいただきました。生徒の皆さんの声がヒントとなり新たな事業が実現するかも知れません。ご参加いただいた大妻嵐山高校の生徒の皆さん、校長先生を始めとする高校関係者の皆様、町執行部にあらためて感謝を申し上げます。
(森)



竹内隆哲氏は、一身上の都合により令和8年2月18日付で議員辞職しました。